

授業名 :【選択必修科目】ライフキャリアと自己実現10

担当教員 : 湯浅且敏

時間数 : 全6回・10時間

開講日 : 11月8日

曜日・時間: 土曜

授業形態 : オンデマンド

科目概要:【自分らしいキャリアを築くための基礎知識と考え方】

到達目標:

- ・生涯学び続けることの重要性を理解し、それをふまえて自分の価値観や人生の目標を文章として明確に表現することができる。
- ・女性を取り巻く社会の現状や解決すべき課題について、意識調査や実態データなどに基づいて、多面的に理解することができる。
- ・将来に向けての中長期的な目標や行動計画を立案することができる。

授業概要

回	日	授業内容	授業形態
1	11/8	理想の生き方、働き方をイメージしよう 〈学修目標〉 自分の「理想の生き方、働き方」について考えるための知識や方法を知る。 〈学修活動〉 ・女性の「理想の働き方」の変遷を知り、あわせて「理想の生き方、働き方」をイメージするうえで目標となるモデルを持つことの重要性を確認する。 ・理想の生き方、働き方について考えるために、ギンズバーグの「キャリア発達プロセス」という考え方を理解し、トランジションに直面した際に必要な相談先について知識を得る。 ・「働く目的」や「やりがい」に関する統計的データをふまえ、あらためて自分にとって現在または将来に「働く目的」は何かを考える。	オンデマンド
2	11/15	働くことの意味や意義を理解しよう 〈学修目標〉 ・企業やビジネス、若者の仕事に関する意識や適応プロセスに関する知識を得る。 〈学修活動〉 ・企業やビジネスに様々な形態があることを理解し、企業研究の重要性について確認する。 ・仕事に関する意識と、仕事・職場への適応プロセスに関する知識を得る。 ・組織における人間関係(フォーマル・グループ、インフォーマルグループ)におけるコミュニケーションの重要性を理解し、テクノロジーの発展がコミュニケーションと働き方に与える影響を考える	オンデマンド
3	11/22	グローバルなジェンダー問題を理解しよう 〈学修目標〉 ・教育や職業選択、ケア役割等において残存するジェンダー不平等の問題とその解決策について知識を得る。 〈学修活動〉 ・「ケア」や「多様な性」への関心からジェンダー平等への機運が高まる一方で、女性の進学や職業選択、ケア役割において依然として不平等なジェンダー規範が働いている現状を確認する。 ・女性の進学や職業選択、ケア役割におけるジェンダー不平等を解消するために、具体的にどのような社会的取り組みが必要か考える。	オンデマンド

4	11/29	日本のジェンダーと労働の関係を知ろう 〈学修目標〉 ・雑誌メディアの分析を通じて、既婚女性が働くという行為が戦後の日本社会でどのように位置づけられてきたか確認する。 ・女性の就労をめぐる現在の問題点を確認し、女性が安心して働くために必要な知識を得る。 〈学修活動〉 ・教育や職業選択、ケア役割等において残存するジェンダー不平等の問題とその解決策に関する知識を得る。	オンデマンド
5	12/6	ロングスパンの目標を立てよう 〈学修目標〉 ・「キャリア」についての様々な考え方を知り、自分自身の目的や目標をロングスパンでデザインするための準備をする。 〈学修活動〉 ・「ライフキャリア・レインボー」や「キャリアパス」、「キャリアトランジション」など、自分自身の目的や目標をロングスパンでデザインするために必要な知識を得る。 ・柔軟に「キャリア」をデザインすることの重要性と、そのために必要な「ポータブルスキル」について知識を得る。	オンデマンド
6	12/13	自分の基盤を固めよう 〈学修目標〉 ・自分自身の基盤を固め、より豊かな人生を送っていくうえで、大学で「学び方」を学んでおくことの重要性を確認する。 〈学修活動〉 ・自分の基盤を固めるうえで重要な、学習者が主体的自律的に学ぶ「自己調整学習」における3つのプロセスや、「人的資本(汎用技能・専門スキル・知識・教養・体力)」、「心理的資本(自己効力感、希望、レジリエンス、オプティズム)」がどういうものであるか理解して、それらを学生生活の中で培えるよう意識する。 ・今後の不確実性の高い未来を生きるうえで必要な「社会的・経済的基盤」について、住環境、金融リテラシー、収入や支出など、さまざまな観点から知識を得る。	オンデマンド

＜評価の基準＞

S	A	B	C	D	X
100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下	－
到達目標を超えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標と合格目標の間にあるレベルを達成している	合格目標を達成している	合格目標を達成できていない	受験資格無、レポート・課題未提出等